

令和3年度 檜山校長会

事務局 乙部町立乙部小学校

檜山校長会は、檜山管内7町の小学校20校、中学校10校の校長で構成している。本会は、昭和23年の創立以来、管内教育の充実・発展のために研究と実践を積み重ねるとともに、教育条件の整備等に努めるなど、組織の総力を挙げて取組を推進している。



I 本年度の活動方針

学習指導要領の全面実施に伴い「社会に開かれた教育課程」及び「主体的・対話的で深い学び」の実現、「カリキュラム・マネジメント」の確立が求められている。新しい時代に対応した明確なビジョンと鋭い時代感覚の下、「生きる力」を育む教育課程の編成・実施・評価・改善に努めるとともに、個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実、生徒指導上の課題、教職員の資質・能力の向上、学校における働き方改革、子どもと向き合う時間の確保、新型コロナウイルス感染症に対する危機管理対応、防災教育・学校安全教育など緊急かつ重要な課題に向けてリーダーシップを発揮し教育改革を成し遂げることが求められている。

檜山校長会は「ふるさと檜山に誇りを持ち、自己実現に向けて未来を切り拓く児童生徒」を育む学校経営の在り方を究明し、保護者や住民の負託と信頼に応えるべく、学校組織の活性化と活力ある学校づくりに全力で取り組んでいく。

II 活動の重点

1 組織マネジメントを活かした活力ある学校経営の推進（重点）

校長自らが研鑽に励み、学校経営上の課題を明確にし、組織マネジメントを活かした学校経営を進めるとともに、学校改善に生かす学校評価の更なる充実を図り「創造的で信頼される学校経営」の推進に努める。

2 「生きる力を育む」適切な教育課程の編成・実施・評価・改善

学習指導要領の目標と内容にもとづく創意ある教育課程を編成し、グランドデザインにおいて、育成を目指す資質・能力を明確にするとともに、カリキュラム・マネジメントに努め、「知識及び技能と思考力、

判断力、表現力等」をバランスよく育む教育課程の充実を図る。

3 時代の変化に即した生徒指導や特別支援教育の組織的推進

心の教育の一層の充実を図り、いじめ・不登校、問題行動などの生徒指導上の諸問題の解決を図り、児童生徒一人一人の豊かな自己実現を目指す。また、特別支援教育の充実と課題解決に向けた組織的な取組を推進する。さらに、学校・家庭・地域・関係機関及び同一中学校区内の小中連携による生徒指導及び特別支援教育の充実を図る。

4 教職員の資質・能力の総合的な向上

学校の教育課題を解決するために、教職員一人一人の意識改革と実践的な指導力の向上を目指した校内外の研修体制の充実を進め、教育の専門家としての資質・能力の向上を図る。また、国や道の動向などを見極めながら、子どもと向き合う時間を確保するための取組の充実に向けた情報発信や管内の状況把握に努める。

5 服務規律の厳正な保持

保護者や地域住民等に信頼される教職員を目指し、服務規律の厳正な保持の徹底に努めるとともに、校長会自らが不祥事の未然防止に向けた積極的な発信を行うなど、教職員の意識改革に努める。（「金銭事故防止に向けた取組状況調査」の継続）

6 組織活動の活性化と充実

組織の活性化を目指し、各専門部及び小・中部会の活動の充実を図るとともに、道小・道中校長会との連携を密にし、組織力の向上に努める。また、教育課題の解決に対応した活動の推進を図るため、教育研究今金大会の充実を努める。

7 ミドルリーダーならびに管理職候補者等の育成

管内教育の一層の安定・充実を図るために、意欲ある管理職候補者及びミドルリーダーの発掘や育成が重要になってくる。将来、管理職候補者や指導主事候補者等を確保するためにも、中・長期的な視点での人材育成に関係機関とともに努める。

8 防災教育と健康安全教育の充実

近年の自然災害等から学ぶ防災教育及び新型コロナウイルス感染防止対応など危機管理の徹底と児童生徒の安全確保に向けた更なる取組の推進に努める。

9 学校における「働き方改革」推進の(重点)

新しい時代に求められる学校づくりに向けた「働き方改革」の推進に努める。

Ⅲ 各部の活動方針

1 経営部

檜山校長会の運営方針や活動の重点を受け学校経営に関わる研修を進め教育活動の充実に努める。また学校運営に必要な法的根拠を据え研修を深める。

- ① 各学校における経営上の当面する諸課題について、研修と交流を深めその解決に努める。
- ② 檜山校長会各部との連携・協働を図り、学校経営上必要な調査・研究を行うとともに、地区別教育研究大会(今金大会)の準備に努める。
- ③ 北海道小学校長会及び北海道中学校長会との連携を密にして、当面する諸課題の解決に当たる。
- ④ 学校経営に関する必要事項を検討し、先進的な実践についても紹介する。

2 研修部

檜山校長会は檜山の教育課題をもとに、研究の基本主題『ふるさと檜山に誇りをもち、自己実現に向けて未来を切り拓く児童生徒の育成』を掲げ、研究のより一層の充実発展を図る。昨年度より新たに第12次3か年研究をスター

トし、各町校長会の組織的、継続的な共同研究体制で強化し、各学校、各町校長会の教育推進や研究の還流に努めるとともに、職能の向上を図る。

3 情報部

- ① 事務局及び各部との連携を密にして、校長会の動向、会員の動静を周知する。
- ② 道小、道中との連携を基に会員の投稿の活性化を図るとともに、機関誌等を通じて全国、全道の動向を環流する。
- ③ 管内各町校長会の発展に寄与する。
- ④ 退会会員との交流を図り、檜山校長会の発展に寄与する。
- ⑤ 会員の文化活動の向上に努める。

4 対策部

- ① 各町校長会の協力を得ながら、組織の実態把握に努め、組織の活性化を図る。
- ② 身分の確立と待遇・勤務条件改善に向け、調査活動及び福利厚生活動を推進する。
- ③ 教育条件の充実・改善に向け、調査及び資料収集活動を推進する。

Ⅳ 役員

会 長	角田 昌宏 (江 差 小)
副 会 長	福井 順一 (江 差 中)
監 査	本谷 弘之 (若 松 小)
〃	皆川 一海 (江差北中)
事務局 長	谷口 光伸 (乙 部 小)
事務局次長	佐藤 等 (館 小)
〃	玉置 英樹 (厚沢部中)
会 計 長	笠松 靖史 (上ノ国小)
経 営 部 長	米田 昌 (瀬 棚 中)
研 修 部 長	久慈 学 (今 金 小)
情 報 部 長	酒井 豊志 (今 金 中)
対 策 部 長	石澤 修介 (北檜山小)
小学校部会長	成田 浩一 (滝 沢 小)
中学校部会長	松島 甲 (乙 部 中)